

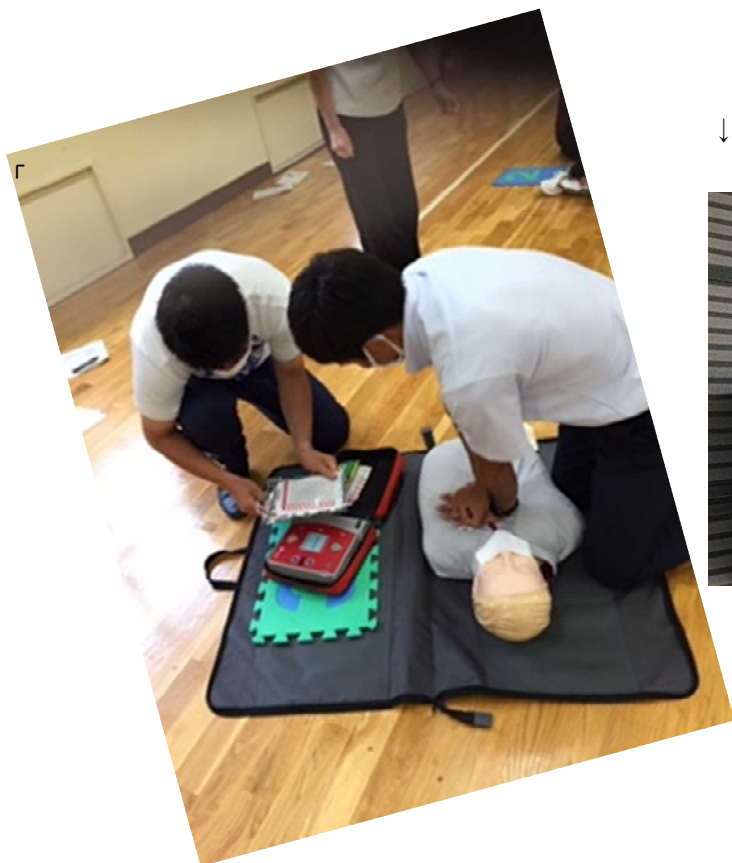
現職研修「AEDを使用した心肺蘇生法講習会」を開催しました！

6月16日(木)の業後、本校職員を対象に、瀬戸消防署から訓練人形と訓練用AEDを9セットお借りし、今年には本校保健主事の成田先生の指導のもと武道場で開催されましたので、その様子を紹介します。

まず、【15分間の奇跡 先生たちの救命リレー】という、宮崎県の小学校で実際に起きた事故のドキュメント動画を見た後、安全衛生委員による「傷病者発見から胸骨圧迫、AEDによる除細動まで」の手順をロールプレイしました。実際に、1人の先生に武道場から本校の玄関にあるAEDを取りに行ってもらいました(靴を履き替えず、全力ダッシュ!時間はなんと46秒!)。その後4~5人のグループに分かれ、実技練習しました。

最後に、救急要請してから、救急車が到着するまでの平均時間が約7分ということで、7分間、4~5人で交代しながら胸骨圧迫をし続けることを体験してもらいました。「4~5人いても胸骨圧迫をし続けるのは体力的に厳しいこと」について、身をもって体験し、できるだけ複数の人を呼ぶことの大切さを確認することができました。

今回のように定期的の実技練習する機会を設定することで、生徒や職員の安全を守るための知識や技術を確認する大切な時間となりました。



↓ 本校の AED は職員玄関にあります ↓

